

IV 特別推薦型選抜

1 特別推薦型選抜制度の趣旨

今日、生涯学習に対する社会的要請が強くなっている。しかし、現実には社会人にとって、学力を問う一般選抜の入試制度は極めて重荷である。また、県下唯一の夜間課程である本学第二部商経学科は社会人を中心とした多様な人材の教育を目的としており、学生にも学業に偏らない多彩な能力を求めている。

このようなことから、第二部商経学科においては、社会人選抜制度と高校生を対象にした学校推薦型選抜制度の趣旨を含みつつ、より広く門戸を広げた特別推薦型選抜制度を実施している。

さらに、特別推薦型選抜の募集人員に欠員が生じた場合に限り、第一部学校推薦型選抜の志願者を対象とした第二次選考を実施し、門戸を広げている。

これは、高校生、社会人を問わず、学習意欲と推薦事由のある者を幅広く受け入れる入試制度である。

学習意欲の旺盛な社会人・高校生の入学を期待する。

2 選考方法

小論文、書類選考（高等学校長、勤務先の知人、若しくは家族など本人を含む適切な人の推薦書・本人の志望理由書・履歴書等）、調査書または高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書、並びに面接の結果を資料として総合判定の上、一般選抜学力検査を免除して合格者を決定する。

3 特別推薦型選抜を実施する学科・募集人員等

課 程	学 科	募 集 人 員	修 業 年 限	備 考
第 二 部 (夜間課程)	商 経 学 科	30名	3年	授業は18時から 21時10分まで

4 対 象 者

次のいずれにも該当する者

(1) 人物が優秀で、更に高度の学業を修得しようとする熱意と能力を有し、学業、仕事、社会的活動、スポーツ、家事等においてなんらかの推薦事由のある者

(2) 次のアからウのいずれかに該当する者

ア 高等学校(中等教育学校を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者

イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)及び令和7年3月修了見込みの者

ウ 学校教育法施行規則第150条(第6号を除く。)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として出願を希望する者は、本学の入学資格審査を受ける必要がある。(48ページを参照)
高等学校卒業程度認定試験合格見込みの者は、それを証明できることを要する。

(3) 合格した場合、入学することを確約できる者

5 出願期間

令和6年11月11日（月）～11月15日（金）（郵送の場合は11月15日（金）消印有効）

- ・受付時間は9時から16時まで。
- ・受験票が未着の場合は、選考日の前日までに、本学教務課に問い合わせること。

6 出願書類等

出願書類等		摘 要
①	入学志願票	Ⅹ 共通事項「1 出願手続」 （41ページ）を参照の上、インターネット出願で作成したPDFデータを印刷して出願すること。インターネットを利用できない場合は、 Ⅹ 共通事項「(4) 手書き用の入学志願票等を使用した出願について」 （43ページ）を参照し、手書き用の様式を使用して出願すること。 出願前6か月以内に撮影した上半身脱帽正面向きのカラー写真（縦4cm、横3cm）を受験票及び入学志願者写真票の所定の欄に貼付すること。 なお、受験時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影すること。
②	受験票	
③	入学志願者写真	
④	推薦書	高等学校長、勤務先の知人、若しくは家族など本人を含む適切な人物による。 〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)にWordファイル掲載〉
⑤	調査書等	出身高等学校において作成したもの。 高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定に合格した者を含む。）は合格成績証明書をもって調査書に代えることができる（合格証明書は不可）。 なお、高等学校卒業程度認定試験合格者で、高等学校等で科目を修得し、受験科目を一部免除された者は、その免除された科目の高等学校等の調査書、成績証明書、又は単位修得証明書を添えること。 （注）調査書等は、令和6年4月以降に発行され、厳封したものを提出すること。 〈パソコン作成可〉
⑥	履歴書	市販のものを使用し、高等学校以後の学歴、職歴等を記入すること。 ただし、高等学校長が推薦書に調査書を添付した場合は省略できる。
⑦	志望理由書	〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)にWordファイル掲載〉
⑧	通学許諾書	有職者の場合には、勤務先からの入学後の通学許諾書 〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)にWordファイル掲載〉
⑨	入学検定料	18,000円 入学検定料の納入方法は、 Ⅹ 共通事項「2 入学検定料」 （44ページ）に記載。

（注）⑤の調査書について、指導要録の保存期間経過及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、調査書を必要としない入試区分（社会人選抜、有職者特別選抜）で出願すること。

⑤の高等学校卒業程度認定試験合格者の受験科目一部免除に係る成績証明書、単位修得証明書について事情により得られない場合は、「成績証明書又は単位修得証明書が発行できない旨の理由書（高等学校等が作成）」を提出すること。

7 出願手続

志願者は、出願書類等を取りまとめ、出願期間内に、本学教務課へ提出すること。

- （1）直接、持参して提出する場合は、受理の際、受験票を交付する。
- （2）郵送の場合は、出願書類等を取りそろえ、「出願封筒おもて紙」を貼付した封筒（角形2号24.0cm×33.2cm）に入れ、必ず書留速達郵便で発送すること。

また、受験票返送用として、氏名、住所、郵便番号を記入し、110円切手を貼付した返信用封筒（長形3号12.0cm×23.5cm）を同封すること。

8 選 考

- (1) 選考は、次の項目について行い、各項目の結果を総合判定し、合否を決定する。

項 目	内 容
選 考 試 験	小論文
面 接	個人面接
書 類 選 考	調査書または高等学校卒業程度認定試験の合格成績証明書・推薦書・志望理由書・履歴書・通学許諾書
そ の 他	志願者の持つ技能及び資格

- (2) 選 考 日 令和6年12月6日（金）

- (3) 選考時間割

試験室入室時刻	9:50	—
面接控室集合時刻	—	12:20
試 験 時 間	10:00～11:30	12:30～
科 目	小論文	面 接

(注) 試験場を確認する場合は、選考日前日の13時から16時までの間に来学して確認すること。

9 合格通知及び発表

- (1) 選考結果の合否については、令和6年12月16日（月）10時に本学掲示板，その後12時までに鹿児島県公式ホームページに受験番号を掲示するとともに、郵送で本人に通知する。
- (2) 合格者は、**入学確約書**（用紙は合否通知に同封する。）を令和6年12月26日（木）までに、本学教務課に提出しなければならない。

郵送の場合も期日までに必着するように**書留郵便**で出すこと。期日までに提出しない場合は、合格を取り消すものとする。

(注) 電話や電子メールによる合否の問い合わせには応じない。

鹿児島県公式ホームページで確認する場合は、

このページの二次元バーコードからアクセスする、もしくは

検索サイトにて「鹿児島県立短期大学合格発表」で検索してください。



- (3) 合格者で入学確約書を期日までに提出した者は、一般選抜学力検査の合格発表日〔令和7年3月6日（木）〕に、本学掲示板に受験番号を掲示するとともに、入学手続書類を郵便で本人に発送する。

10 入 学 手 続

合格者は、入学手続書類が届いた日から、令和7年3月14日（金）16時までに入学手続をしないと入学できない。

11 特別推薦型選抜（第二次選考）

（1）実施の条件

第二次選考は、特別推薦型選抜の募集人員に欠員が生じた場合に限り実施する。

（2）対象者

第一部商経学科（経済専攻，経営情報専攻）の学校推薦型選抜を受験した者のうち，出願時に特別推薦型選抜（第二次選考）にも出願した者*で，学校推薦型選抜に合格しなかった者。

* 学校推薦型選抜の出願資格を満たす対象者で，「学校推薦型選抜」の商経学科（経済専攻又は経営情報専攻）に出願し，かつ「第二部商経学科特別推薦型選抜（第二次選考）への同時出願について」の欄で「出願する」を選択した者。

（3）選考方法・合格者数

第一部学校推薦型選抜における小論文，面接（推薦書・志望理由書等を含む）および調査書を資料として活用し，学校推薦型選抜で出願した専攻区分に関係なく総合判定し，特別推薦型選抜の募集人員の欠員分を考慮して合格者を決定する。

（4）合格通知および発表，入学手続

第二次選考の合格者については特別推薦型選抜合格者として扱う。

12 不合格者の取り扱い

特別推薦型選抜に合格しなかった者で，本学への入学を希望する者は，学生募集要項に従い，あらためて手続をすることなく一般選抜個別学力検査（第二部商経学科）を受験することができる。

なお，有職者特別選抜で入学を希望する者は，あらためて出願書類を提出しなければならない。

特別推薦型選抜推薦書

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

推薦者 住所
(職場名)

氏名 印

被推薦者との関係(高等学校長・職場の上司・同僚・知人)
(家族・本人)

下記の者は、推薦理由のとおり、貴学において大学教育を受けるにふさわしい者と認めますので、貴学の特別推薦型選抜制度により入学を許可されるよう責任をもって推薦いたします。

記

1 被推薦者 フリ ガナ
氏名

住所
(又は職場名)

2 推薦理由

- (注) ① 記入には必ず黒インク又は黒ボールペンを使用してください。
(パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)に Word ファイル掲載)
- ② 推薦理由については、学業に限らず、仕事・社会的活動・スポーツ・家事などでもかまいません。
なお、この項目では推薦理由となる事項を概評的な表現でなく、なるべく具体的かつ詳細に記入してください。
- ③ 推薦理由に関わるものが、一般的に知られていないと思われる場合には、参考となる資料を添付してください。
- ④ 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

特別推薦型選抜志望理由書

高等学校
又は
勤務先

フリガナ
氏名

昭和・平成 年 月 日生

鹿児島県立短期大学長 殿

私は、下記理由のとおり特別推薦型選抜を志望いたします。

記

- 志望理由〔志望の動機・就学の目的・学業への期待や熱意等〕

- (注) ① 記入には必ず黒インク又は黒ボールペンを使用してください。
〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)に Word ファイル掲載〉
② 記載欄が不足する場合は、用紙を足してください。

(特別推薦型選抜志願者で有職者の場合)

通 学 許 諾 書

下記の者が貴学に入学した場合は、通学することを許可します。

入 学 者 住 所 _____

フリ ガナ

氏 名 _____

勤 務 先 名 称 _____

所在地 _____

責任者

職 名 _____

フリ ガナ

氏 名 _____

令和 年 月 日

鹿児島県立短期大学長 殿

(注) 記入には必ず黒インク又は黒ボールペンを使用してください。

〈パソコン作成可：鹿児島県公式ホームページ(41ページ参照)に Word ファイル掲載〉

